

プロジェクト報告書

【締切:プロジェクト終了後1か月以内、もしくは 2008年4月15日】

団体名:森林インストラクター東京会

報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度、写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. プロジェクト名

高尾・西浅川「お日の森」再生プロジェクト

2. プロジェクトの目的とその背景 300文字まで

応募申請書に記載のもので可。

かつて薪炭林として利用していた1.28haの雑木林(通称:お日の森)が高尾・西浅川にあり(所有者は西浅川山林組合)、60年間の放置により現在“荒れ放題”になっているが、この森を手入れすることにより、子どもたちの自然体験の森として蘇らせることを目標とする。

3. プロジェクトの内容 300文字まで

当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のもので可。

実施場所:高尾・西浅川 *住所:八王子市西浅川町156-1及び2

実施主体:森林インストラクター東京会

実施方法:年5回のイベント(一般森林ボランティアの参加者募集)及び月2回の自主活動

実施内容:森林整備(道づくり、除伐、危険木除去、沢の整備、下草刈りなど)

4. プロジェクト実施にあたっての工夫点とその効果 300文字まで

1.参加者の意識を共有するためと山施業の効率化のために道具小屋と簡易トイレを作成。

近隣の方の要らなくなったプレハブ小屋を解体運搬(人力)し参加者と山林組合の協力で完成、真如苑様の助成金で購入させて頂いた道具が並び、女性の参加者の着替えも出来るようになりました。

2.10月にこの山づくりの同じ目的をもつ参加者の皆さんと活動団体“お日の森くらぶ”を立ち上げました(代表 山田武久)。2月現在会員31名です。協議会でも会員だけでなく初めて作業参加の方も参加頂き、今後の施業に対し活発な意見が寄せられています。今後永くこの活動を継続していく良き力となります。

5. 全体的所感、終了しての感想など 300文字まで

1.2月でこのフィールドを巡る境界線沿いの道作りはほぼ完成しました。

フィールド入り口近くの住民の方々からも水道水の使用の申し出や草刈作業の手伝いも頂き、近隣の方々からは“お日の森にはもう入れるの、春になったら仲間と歩いてみたいの”等の声が聞かれ、嬉しく思っています。

2.この4月には児童館、子ども会から山に入ってよいかの問い合わせもあり、山を歩いて子供達がどのように感じ、どんな遊びをしてみたいか聞いてみたいと思っています。

3.所有者の西浅川山林組合からも評価を頂き、4月からは“お日の森くらぶ”との協定書締結が約束されています。広葉樹施業をどのようにやるか楽しみですが難しい課題です。

6. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動風景の写真を参考資料として提供してください。

【添付資料】資料と写真

・作業回数と参加人数

・道具小屋 購入道具 施行風景

